



コバトン

病害虫防除情報

令和元年9月2日
埼玉県病害虫防除所

1 情報名 ダイズのべと病について

2 情報内容

(1) 病原菌と被害症状

本病害の病原は糸状菌（カビ）です。葉での症状は黄色ないし黄白色の斑紋が生じ、斑紋の裏側には汚白色あるいは淡褐色の綿毛のようなカビが生じます。発病が激しいと葉が萎れて落葉し、子実では表面に白色のカビが付着します。子実まで感染すると品質低下を招きます。

(2) 今後の発生について

本病は、種子とほ場内の残渣が第1次伝染源となります。昨年、発生が多かったほ場では、種子や茎葉の残渣による病原の持越しが多いと考えられます。

本年は、8月中旬以降に発生助長要因となる多雨条件が続いたことから、発生ほ場では増加が懸念されます。病斑を確認したら、早期に防除しましょう。



図1 葉表に発生した黄色の病斑



図2 葉裏に発生した淡褐色のカビ



図3 多発して萎れた葉

表 ダイズのべと病の防除薬剤例

薬 剤 名	FRAC コード	使用時期	使用 回数
ジマンダイセン水和剤	M3	収穫 45 日前まで	3
リドミルゴールドMZ	M3、4	収穫 45 日前まで	3
ライメイフロアブル	2 1	収穫 7 日前まで	3
アミスター20フロアブル	1 1	収穫 7 日前まで	2

(使用基準は令和元年9月2日現在)

3 IRACコード及びFRACコードについて

病害虫の薬剤抵抗性発現防止の観点から、IRAC（世界農薬工業連盟殺虫剤抵抗性対策委員会）及びFRAC（同連盟殺菌剤抵抗性対策委員会）の農薬有効成分作用機構分類コードを記載しています。

農薬工業会ホームページ <http://www.jcpa.or.jp/lab/mechanism.html>

<農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を必ず守って使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍数は使用の都度確認する。特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 4 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。
- 5 農薬の最新情報は、埼玉県農産物安全課ホームページをご覧ください。

[http://www.pref.saitama.lg.jp/a0907/nouann/saishintourokujouhou.html?
mode=preview](http://www.pref.saitama.lg.jp/a0907/nouann/saishintourokujouhou.html?mode=preview)

問い合わせ先 埼玉県病害虫防除所 TEL：048-539-0661